

# もしバナゲーム オンライン体験

～緩和ケアや終活、縁起でもない話をもっと身近に～  
もしバナゲーム とは？

「もしバナゲーム」とは亀田総合病院で緩和ケアや地域・在宅医療に取り組む医師らが開発したカードゲームです。重病の時や死の間に「大事なこと」として人が考えるような言葉が記してあるカードを使い、余命短い想定で大事にしたい言葉を選び、自分自身の価値観を考え、一緒にプレイする人と語り合える気持ちの整理や発見をするため作られました。

集まっての体験ができないため、今回はオンライン上でゲームを体験したいと思います。

“架空の状況”で気軽にもしものこと考えたり話し合ってもらい、体験することでアドバンス・

ケア・プランニング(ACP)やほほえみノートの「理想の人生」のページを日々の業務に活かしてみませんか？

## 講師

澁川市国民健康保険あかぎ診療所  
所長 菅野 圭一 先生



## 日時・開催方法・参加者・定員について

日時 **2021.6.16 (水) 19:00～20:30**

開催方法 ※オンライン開催(zoom)下記の点に注意

- 1つのPC機器(マイクとカメラ必須)にて1名の参加
- セミナー中はカメラを常にONの状態 ●スマホ×

参加者 医療・介護関係者 参加費無料

定員 定員 50名 (別紙または応募フォームより申し込み)

## 講師プロフィール

1962年群馬県伊勢崎市生まれ。1987年自治医科大学卒業後は、群馬大学第二外科に所属し、主に消化器外科を研修。1992年から1995年まで中里村(現神流町)国民健康保険診療所勤務。その後再び病院の外科勤務に戻ったが、中里村勤務時代の「いろいろな健康相談に伝えていきたい」という思いが忘れられず、1998年6月から赤城村国民健康保険北診療所に所長として勤務。その後平成18年2月の市町村合併、平成22年4月の診療所合併に伴い、現職となる。

家族は妻と二人の男の子。趣味は趣向を凝らしたパワーポイントプレゼンテーションなどを使用して、健康情報を楽しくわかりやすく伝えていくことだったが、2020年のコロナ禍によりしばらく行えなかった。リアルではいまだにできないが、7月以降Zoomで工夫しながら少しずつ行うようになり精力的に活動されています。

主催：一般社団法人沼田利根医師会 ぬまたとね医療・介護連携相談室  
共催：利根沼田医療福祉勉強会・利根沼田介護支援専門員協議会  
協力：沼田市・片品村・川場村・昭和村・みなかみ町